

# 知事 全国キャラバンへ

来月11日開始 沖縄の民意伝える

玉城デニー知事が沖縄の「デニー知事・全国キャラバン」が6月11日に始まることが決まった。2月の県民投票の結果を中心に、沖縄に米軍基地が集中する現状や沖縄から見た日本の民主主義、地方自治の在り方などを議論する。

辺野古新基地建設のための埋め立て工事の賛否を問う県民投票で、投票率52・48%、投票者数の71・7%が「反対」と意思表示したにもかかわらず、工事が続

いている。玉城知事は「安全保障の問題は全国で議論すべきだ」と主張し、全国キャラバンを展開する考えを示してきた。

沖縄問題の解決に取り組むシンクタンク「新外交インシアタイプ（ND）」が実施団体となり、事務局を担当する。

第1弾は6月11日午後7時から東京都千代田区のルポール麹町3階「マーブル」で、県主催のシンポジウムを開催。玉城知事が基調講演した後、米シンクタンク「憂慮する科学者同盟」のグレゴリー・カラツキー上

級アナリスト、沖縄国際大学・大学院の前泊博盛教授、東京新聞の半田滋論説委員兼編集委員、県民投票条例制定請求者の元山仁士郎さんがパネルディスカッションに登壇する。NDの

190526 沖縄タイムス 2面

猿田佐世代表がコーディネーターを務める。定員165人で、入場無料。問い合わせはND、電話03(3948)7215、メールinfo@nd-initiative.org